

合併住民説明会における主な質疑等

(1/17~1/25 分、件数のないものはすべて1件)

《総括的事項～基本的項目等》

- ・市名の変更に伴い住所変更等何らかの手続きが必要になるか。また、その費用はどうなるか。(2件)
- ・新市の名称が一宮市に決まったが、新しい名前になると思っていたが、腰砕けになってしまった。もっとこだわってほしかった。
- ・分序方式をとることについて、交通アクセスは考えているか。
- ・合併を先延ばしにしたとしても、その後合併することはできるが、合併してしまったらもう分離できないので慎重に行うべきではないか。
- ・今回の説明資料のようなものをもっと早く出してほしかった。住民投票の判断を下すために、この説明会に出ていない人には、協議内容をどうやってPRしていくか。

《住民サービス等個別施策》

- ・合併後2年後、3年後に調整するという項目が多く見受けられるが、調整期間を設けずにすぐに統一すべきではないか。
- ・一宮市に合わせるというだけでなく社会的弱者への配慮をより残した調整をしてほしい。福祉について後退のないようにお願いしたい。(2件)
- ・合併すると木曽川町の良いところがなくなるのではないか。
- ・敬老金の支給が廃止されることになっているが続けてほしい。(2件)
- ・ねたきり老人等見舞金(月額5,000円)が尾西市にはないという説明であったが、もっと金額の高い家族介護慰労金(年額10万円)の支給が廃止となる。敬老金の廃止をして財源をねたきり老人等見舞金に充てるといわれたが、納得いかない。
- ・一宮市の消防団の操法大会が廃止されるのは団員の理解が得られているのか。地域の安全のために続けていくべきではないか。
- ・尾西市の無料巡回バスは、どうなるか。全市に広げてほしい。(2件)
- ・現在の尾西市の保育料、上下水道料金、国民健康保険税が一宮市、木曽川町に比べてかなり高いのはどうしてか。
- ・木曽川町で合併後適用される市街化区域内農地課税について教えてほしい。
- ・スポーツ施設は合併するとどうなるか。総合体育館は遠くにできるが、アクセスや駐車場の問題はどうなるか。また、駐車場は無料でお願いしたい。
- ・町内会組織は、当面現行のとおりとされているが、交付金等の金額はどのように調整されていくのか。

- ・木曽川町で実施している小中学校の少人数学級は引き続き行ってほしい。また、全市で行うこと可能か。(2件)
- ・合併後、農業委員会委員はどうなるか。
- ・合併後、身体障害者の雇用を拡大してほしい。

《新市建設計画》

- ・対等の精神を持ち続けて、新市建設計画の策定に取り組んでほしい。
- ・木曽川町の保育園について耐震化等の施設整備を進めてほしい。
- ・例えば、各地域に公民館をつくるなどの条件を設け合併を行うべきである。
- ・身体障害者専用の体育館を建設してほしい。
- ・新市建設計画に児童館の建設が載っていないが、児童館建設は進めるのか。
- ・新市の端に総合体育館などの大きい箱物1つにお金をかけるのではなく、各地域にコミュニティセンターなどをつくってほしい。(2件)
- ・7つの礎 主要事業の中で産業の振興「たくましい産業が躍動するまちづくり」とあるが、繊維産業の振興を考えているのか別の産業を考えているのか。
- ・新市建設計画にある粗大ごみ処理施設は新しく建設するのか。
- ・一宮市の将来の人口が減っていくとされているが、根拠はどこにあるか。
- ・新市建設計画にある主要事業は、合併するからできるものか、合併しないとできないものか。
- ・企業誘致を積極的に行ってほしい。
- ・中心部と周辺部の格差について手を打ってもらえるか。
- ・主要事業では、尾西市の事業が他市町に比べて少なすぎる。北部公民館の建設を入れてほしい。もっと対等に主張するべきである。
- ・1月23日の新市建設計画作成等小委員会で谷市長がベッドタウンというのはマイナスのイメージがあるので名古屋の副都心としたいと発言されたが、一宮駅のリニューアル、駅前周辺の整備、マンションの建設で新住民の流入を目指すとかはあるが、尾西市のことなどとも言っていない。尾西市は一体どうなっていくのか。良くなるとは感じられない。

《財政運営》

- ・尾西市の住民投票の結果、合併しないということになったら、今後の財政推計はどうなるか。(2件)
- ・財政推計の中で、総投資額と個々の事業の開始年度を教えてほしい。
- ・財政状況が厳しいのに財政推計を見ると、合併する場合としない場合とで事業費が241億円、市債が217億円も増える。ほしいものと必要なものとは違うと思うが、将来私たちの借金が増えてしまうことになるが大丈夫か。(2件)

- ・合併した場合としなかった場合で、市債が 217 億円、公債費が 60 億円増えるがその差は借入残高として残るということか。
- ・2~3 年の調整期間を設けているものが多く見受けられるが、それについての財政推計はどうなっているか。
- ・少子高齢化するといいながら、財政推計上扶助費が増えていない。少子高齢化対策が見えてこない。
- ・平成 26 年度以降の財政推計はどうなるか。
- ・合併しなかった場合の財政推計がほとんど赤字になっているが、本当にこうなるのか。一方、合併した場合は黒字になっているがそうならないときはどうするか。(5 件)
- ・合併後 10 年間で職員を 333 人削減するとなっているが、少なすぎるのではないか。民間委託をもっと進めれば、もっと削減できるはずだ。
- ・財政推計の歳入で、市債が毎年加算されているがそれは返済していくのか。
- ・合併した場合の財政推計で、地方交付税が増えていて、国県支出金はあまり増えていないが、将来これくらい出てくるものなのか。
- ・財政推計で合併する場合としない場合で市債が 217 億円増える。合併しない場合は歳入歳出の差し引きが 10 年間のトータルで 156 億円の赤字となっている。また、普通建設事業費が 241 億円の差があるが、ほとんどやらないといけない事業しかないと説明があったのに合併しない場合に入っていない事業があるのはなぜか。また、それはどの事業か。
- ・財政推計の職員の給与水準はどのレベルで見込んであるか。全国的に見て上方か、下のほうか。
- ・合併特例債 400 億円があるといつても、認定がなかなか難しくて事業がはねられることが多いと聞いている。そうなると、市の持ち出しが増えてしまうのではないか。

《議員、職員関係》

- ・合併後の議員報酬はどうなるか。一宮市に合わせるのか、それぞれの現在の報酬のままとするのか。できるだけ負担のかからないようにしてほしい。(5 件)
- ・議員の任期について在任特例を採った理由は何か。また、そうすると議員数が 78 人になるが、議場はどうするのか。(2 件)
- ・在任特例の後は法定の定数(上限 46 人)となるとのことだが、尾西市及び木曽川町の議員数が減ることに不安がある。
- ・現在の市町職員はどうなるか。また合併後職員が 333 人削減するとなっているが、その人たちについては何か対応されるのか。(2 件)
- ・今の職員給料、議員報酬は高額過ぎる。職員、議員を含めもっと下げるべき。また、期末手当をやめるべき。

《住民投票》

- ・2月29日の尾西市の住民投票について賛成・反対の見通しはどう考えているか。
- ・住民投票で反対票が多かったら、合併協議はどうするか。合併はやめるのか。(2件)
- ・住民意識調査の結果を見てから住民投票をしたいが、住民意識調査の結果を投票日前に出せないか。
- ・2月29日の住民投票では投票率が50%を超える自信はあるか。また、投票率が50%を超えてなかつた場合、開票せずに、合併するとして議会に提案すると表明されているが、合併に賛成されなかつたものと判断し、合併しないとするべきではないか。
- ・木曽川町で住民投票は考えていなか。